

航空中央音楽隊のアルベールヴィル国際軍楽祭参加について

1 概要

- (1) フランス共和国アルベールヴィルで実施された「第43回国際軍楽祭」に、航空自衛隊航空中央音楽隊が、自衛隊音楽隊として初参加し、市中パレード及びオリンピックホールでの公演を実施しました。
- (2) オリンピックホールでの公演では、『Le Nouveau Japon (ル・ヌーヴォー・ジャポン) (新しい日本)』をテーマに、約20分間のドリル演奏を実施し、演奏終了後には、スタンディングオベーションで歓迎されました。
- (3) 自衛隊の海外における軍楽祭への音楽隊の派遣等は、派遣国及び他の参加国との関係の構築及び深化を図るとともに、諸外国における自衛隊の理解を深め、親近感の醸成に寄与することを目的に、平成28年度から防衛省として実施しています。令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント自体が中止等となるなど参加しておらず、令和元年以来の参加となりました。
- (4) 航空中央音楽隊としては、平成11年度のアメロカ及びカナダ、平成18年度の韓国、平成30年度のドイツ及びオランダに次いで6回目の海外派遣演奏となりました。

2 軍楽祭の概要

- (1) 行事名
「第43回国際軍楽祭」
同軍楽祭は、1992年冬期五輪開催地であるアルベールヴィルにおいて毎年開催され、今回で43回目となる歴史ある音楽祭です。
- (2) 期間
令和4年7月1日（金）～3日（日）
- (3) 派遣先
フランス共和国 アルベールヴィル
- (4) 参加国
イタリア、フランス及び日本
- (5) 派遣要員
航空中央音楽隊 副隊長 3等空佐 朽方 聡 以下、58名

3 航空中央音楽隊のコメント等

- (1) 隊長 前田 2佐
航空中央音楽隊の演奏技術及び規律、士気の高さから精強性を示すとともに、他の軍楽隊との競演により能力向上に資することができました。海外派遣演奏のご支援を頂いた方々に謝意を表したいと思います。
- (2) 副隊長（派遣指揮官） 朽方 3佐
歴史ある軍楽祭のひとつである「アルベールヴィル国際軍楽祭」に航空自衛隊航空中央音楽隊が自衛隊として初参加したことを大変光栄に思います。今回の参加により、軍楽祭参加国との新たな関係の構築及び従来との関係強化に寄与できたと確信しています。

4 テーマ・演奏曲

(1) テーマ

『Le Nouveau Japon (新しい日本)』

(2) 演奏曲

ア 市中パレード

- ・航空自衛隊行進曲「空の精鋭」
- ・行進曲「蒼空」
- ・ふるさと
- ・海を越える握手
- ・セントルイス・ブルース・マーチ
- ・フレンドシップ讃歌

イ オリンピックホールでのドリル演奏

- ・ドラムマーチ (入場)
- ・空の精鋭 ～ファンファーレバージョン～
- ・White Falcon
- ・行進曲「蒼空」
- ・さくらのうた
- ・映画「天空の城ラピュタ」より ～ハトと少年・ロボット兵～
- ・オー・シャンゼリゼ
- ・「ファイナル・ファンタジー」より ～ザナルカンドにて・メインテーマ～
- ・オリンピック・スピリット
- ・航空自衛隊行進曲「空の精鋭」
- ・ドラムマーチ (退場)



式典



集合写真 (オリンピックホール)



市中パレード



オリンピックホールでの公演



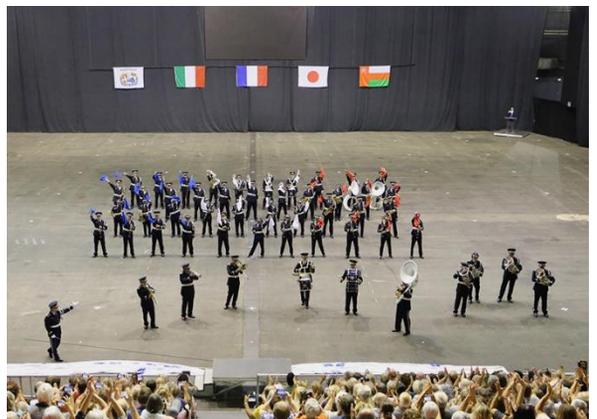
市中パレード



ドリル演奏「さくらのうた」



市中パレード



ドリル演奏「オーシャンゼリゼ」



航空中央音楽隊 副隊長
3等空佐 朽方 聡



航空中央音楽隊は、昭和36年航空音楽隊として東京都立川市に発足、昭和57年航空中央音楽隊となり、防衛大臣直轄の音楽隊として防衛省の式典及び各地での演奏会などの演奏活動を行っています。

これまで東京オリンピックや今上天皇即位の礼、平成30年にドイツ及びオランダで開催された「ミリタリー・タトゥー」に参加するなど、数多くの国家行事及び国際イベントに参加しています。